陵墓関係17学協会

陵墓立入り観察報告会

大山古墳・誉田御廟山古墳の立入り観察から見えてきたこと

大山古墳〔仁徳天皇陵〕

誉田御廟山古墳〔応神天皇陵〕

文化財としての「陵墓」をひらく
観察成果の報告と議論

※古墳名の〔 〕は宮内庁の治定による

空中写真：国土地理院撮影（2021年、CKK20216-C3-14・CKK20211-C20-9）を加工して作成

趣　旨

陵墓関係17学協会は、これまで「陵墓」を文化財として位置づける学術的立場から、その公開と活用の推進に取り組んできました。そして、2023年から2025年にかけて、日本最大級の前方後円墳である大山古墳および誉田御廟山古墳の墳丘への立入り観察が実現しました。これは、「陵墓」の学術的調査・研究を進めるうえでも、文化財としての保存・公開のあり方を考えるうえでも、きわめて重要な機会でした。

報告会では、二つの古墳に実際に立ち入って得られた観察成果を広く社会に還元すべく、関心を持たれるみなさまに共有いたします。あわせて、その成果について考古学だけではなく、古代史、近世史、近現代史の研究者のコメントをもとに、多角的なディスカッションをおこない、文化財としての学術的な検討を深めたいと考えています。

「陵墓」に限らず、日本の歴史や文化財の保存・公開・活用に関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

開催方法

- どなたでも参加いただけます（参加無料）
- 資料集は有料です［予価：1,000円］
- 対面開催（オンライン配信等はありません）

日時

2026年12月12日（土）

13:00〜17:30（開場 12:30）

会場

専修大学神田キャンパス

1号館303教室（3階）

最寄り駅：
地下鉄九段下駅（出口5）
地下鉄神保町駅（出口A2）

プログラム

全体進行：平井洸史（考古学研究会）

13:00〜13:05	開会挨拶	青柳泰介（日本考古学協会）	
13:05〜13:20	趣旨説明	今尾文昭（古代学研究会）	
13:20〜14:05	立入り観察報告①「大山古墳」	犬木努（史学会）	
14:05〜14:50	立入り観察報告②「誉田御廟山古墳」	岩本崇（日本考古学協会）	
14:50〜15:10	休憩		
15:10〜17:25	ディスカッション	司会：日高慎（日本考古学協会）	
	コメント①	墳丘形態について	澤田秀実（考古学研究会）
	コメント②	古代史からみた陵墓	森田喜久男（歴史科学協議会）
	コメント③	近世史からみた陵墓	鍛治宏介（京都民科歴史部会）
	コメント④	近現代史からみた陵墓	高木博志（古代学協会）
	討　論	［登壇］犬木努・今尾文昭・岩本崇・鍛治宏介・澤田秀実・高木博志・宮間純一（地方史研究協議会）・森田喜久男	
17:25〜17:30	閉会挨拶	日高慎	

（報告・コメントのタイトルはすべて仮のものです）

事前参加申込はこちら >>

https://forms.gle/yoCMtou8yFMXGG9f7

事前申込にご協力ください
当日参加も大歓迎です！

主催　陵墓関係17学協会*・陵墓立入り観察報告会実行委員会

*京都民科歴史部会・大阪歴史学会・考古学研究会・古代学協会・古代学研究会・史学会・地方史研究協議会・中国四国前方後円墳研究会・奈良歴史研究会・日本考古学協会・日本史研究会・日本文化財科学会・日本歴史学協会・文化財保存全国協議会・歴史科学協議会・歴史学研究会・歴史教育者協議会

問い合わせ先
陵墓立入り観察報告会実行委員会事務局
青柳泰介・河野保博（歴史学研究会）・小林孝秀（地方史研究協議会）
E-mail：rtkh2026@gmail.com
https://sites.google.com/view/rtkh2026/